

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月11日

上場会社名 オリコン株式会社
 コード番号 4800 URL <http://www.oricon.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企業広報部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 大

(氏名) 小池 恒
 (氏名) 日高輝明

TEL 03-3405-5252

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	1,283	3.3	116	33.6	125	76.6	72	△70.0
21年3月期第1四半期	1,242	—	87	—	70	—	240	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	461.01	458.38
21年3月期第1四半期	1,538.46	1,525.17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	3,825	1,188	20.4	4,978.50
21年3月期	3,690	994	18.6	4,399.82

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 778百万円 21年3月期 688百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—				
22年3月期 (予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	2,700	11.0	230	0.9	180	15.4	100	△61.7	639.43
通期	5,700	13.6	600	17.4	525	39.6	350	5.4	2,238.01

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	156,420株	21年3月期	156,378株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	—株	21年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	156,389株	21年3月期第1四半期	156,347株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、前連結会計年度に起きた世界的な金融危機を背景として、企業収益の低下、設備投資の減少、雇用情勢の悪化等が続き、一部に景気が持ち直す動きが見られるものの、依然として厳しい状況で推移いたしました。このような経済情勢を受け、企業が広告費の抑制を続けており、国内の広告市況は低迷する状況となりました。

このような状況下、当第1四半期連結会計期間において当社グループは、主力事業であるメディア事業のうち、広告販売が収益の柱であるWEBメディア事業と雑誌事業については、広告市況低迷の影響を受け、売上高が前年同期を下回りました。一方、個人向けに販売している着うたフル[®]配信サービスについては、楽曲のラインアップが充実したことを主な要因として、その売上高が前年同期を大幅に上回りました。また、データサービス事業については、前連結会計年度において立ち上げを行った音楽ソフト・映像ソフト・書籍のマーケティングデータをオンラインで提供するサービス「ORICON BiZ online」を、当第1四半期連結会計期間より有料化し、旧来のオンラインサービス「真大樹」のユーザーを当新サービスに移行させることに注力するとともに、新規のユーザー獲得を推進いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間の業績については、売上高は、前年同期比 3.3%増の1,283,865千円となりましたが、前年同期の売上高には前年同期に連結除外となった子会社(ORICON CNS INC.)の売上高106,129千円が含まれていますので、これを除いて比較すると、前年同期と比べ13.0%の増収となります。また、営業利益については、増収効果を主な要因として、前年同期比 33.6%増の116,409千円を計上いたしました。前年同期の営業利益にはORICON CNS INC.の営業利益13,822千円が含まれていますので、これを除いて比較すると、前年同期と比べ58.7%の増益となります。経常利益については、営業利益が大幅に増加したことに加え、前年同期と比べ有利子負債を削減したことによって支払利息が減少したこと、投資事業組合運用益22,686千円を計上したこと等を主な要因として、前年同期比76.6%増の125,289千円を計上いたしました。四半期純利益については、72,097千円を計上いたしました。前年同期に関係会社株式売却益215,727千円を特別利益として計上しておりましたので、前年同期と比べると70.0%減となりました。

当第1四半期連結会計期間の事業の種類別セグメント状況は、以下のとおりです。

(1) メディア事業

① WEBメディア事業 (ORICON STYLE 広告)

当社グループのPCサイトには、自社のエンタテインメント系ニュースを「Yahoo! JAPAN」及び「mixi」に提供し、掲載されたニュース記事中のリンクからユーザーを誘導するという手法で来訪者数を伸ばしてきた実績があります。当第1四半期連結会計期間においても、エンタテインメント系ニュースの提供を強化するとともに、コンテンツの拡充を継続的に行ったことが奏功し、平成21年6月度のPC向けサイトの月間ユニークユーザー数は1,434万3千人となり、前年同月比で240万8千人増(20.2%増)と収益の源泉となるサイト来訪者数が大幅に増加しました(ネットレイティングス社・サイトセンサス調べ)。

このように、サイト来訪者数が伸び、広告メディアとしての価値を高めてきたことから、バナー型広告の受注額は前年同期を上回りましたが、広告市況低迷の影響を受け、受注単価の高いタイアップ型広告の販売に苦戦し、ORICON STYLE 広告全体の売上高は、前年同期比17百万円減(6.4%減)の247百万円となりました。

② モバイル事業

平成20年9月よりユニバーサル ミュージック株式会社およびエイベックス・グループ・ホールディングス株式会社の着うた[®]・着うたフル[®]配信楽曲が大幅に充実したことが、当第1四半期連結会計

期間の着うた[®]と着うたフル[®]の売上高を増加させる主な要因となり、前年同期と比べ、着うた[®]が11百万円増(9.8%増)、着うたフル[®]が171百万円増(152.7%増)となりました。一方、着信メロディの売上の減少は続き、前年同期比25百万円減(15.2%減)となりましたが、モバイル事業全体での売上高は、着うたフル[®]の大幅な増収が寄与し、前年同期比162百万円増(38.5%増)の583百万円となりました。

③雑誌事業

広告市況低迷の影響を受け、広告出稿が前年同期と比べて減少し、当第1四半期連結会計期間の雑誌事業全体の売上高は、前年同期比11百万円減(3.5%減)の301百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間のメディア事業全体の売上高は、デジタルコンテンツ制作の売上高16百万円を加え、前年同期比28百万円増(2.5%増)の1,146百万円となりましたが、前年同期には連結除外となったORICON CNS INC.の売上高106百万円がメディア事業の売上高に含まれていますので、これを除いて比較すると、前年同期と比べ13.2%の増益となります。

(2) データサービス事業

データサービス事業は、①放送局及びEコマースサイト向けの音楽データベース提供サービス、②マスコミへのランキング情報等の販売、③音楽ソフト・映像ソフト・書籍のマーケティングデータを提供するオンラインサービス「ORICON BiZ online」等で構成されています。

当第1四半期連結会計期間においては、放送局が番組制作費の削減を進めた影響を受け、放送局向けの売上が縮小したことを主な要因として、①及び②の売上高は前年同期を下回りました。一方、平成21年3月に、旧来のオンラインサービス「真大樹」を刷新して開始した新サービス「ORICON BiZ online」については、「真大樹」ユーザーの当新サービスへの移行を推進し、メニュー追加等による契約単価のアップを図るとともに、新規ユーザーの獲得に注力した結果、前年同期の「真大樹」と比べ、増収となりました。これらの結果、データサービス事業全体の当第1四半期連結会計期間の売上高は、前年同期比13百万円増(10.7%増)の136百万円となりました。

また、データ精度の向上を図るべく、当第1四半期連結会計期間においても調査協力店の拡充に努めた結果、平成21年7月1日より新規にコンビニエンスストアチェーンが加わり、調査協力店数が従来の4,070店から1万6,419店に増加いたしました。これによって、全体のデータ精度が高まるとともに、「ORICON BiZ online」でこれまでカバーしてきた流通形態(「メディアストア」「家電量販店」「Eコマース」「ジャンル専門店」「書店」)に、新たに「コンビニエンスストア」が加わり、「ORICON BiZ online」の商品価値向上も図られました。

なお、当第1四半期連結会計期間より、現状の事業内容を鑑み、セグメントの名称を「データベース事業」から「データサービス事業」に変更しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は3,825,732千円となり、前連結会計年度末と比べ、現金及び預金が94,359千円増加したこと、のれんが75,006千円増加したこと等を主な要因として、135,318千円増加しました。また、負債合計は2,636,812千円となり、前連結会計年度末と比べ、短期借入金137,200千円減少したことを主な要因として、59,263千円減少しました。純資産合計は、四半期純利益72,097千円を計上したこと、少数株主持分が103,878千円増加したこと等を主な要因として、前連結会計年度末と比べ194,582千円増加しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ92,859千円増加し、549,779千円となりました。

営業活動により増加した資金は164,980千円(前年同期は46,004千円の増加)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益128,530千円を計上したことによるものであります。

投資活動により増加した資金は10,165千円(前年同期は34,895千円の減少)となりました。これは主として、投資有価証券の売却による収入40,003千円、貸付金の回収による収入27,000千円、無形固定資産の取得による支出50,833千円によるものであります。

財務活動により減少した資金は82,287千円(前年同期は195,286千円の減少)となりました。これは主として、借入金の返済によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月8日に公表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	553,279	458,919
受取手形及び売掛金	1,004,989	1,011,732
商品及び製品	10,339	10,695
仕掛品	15,415	15,181
販売用不動産	102,000	102,000
その他	456,038	481,817
貸倒引当金	△25,329	△28,879
流動資産合計	2,116,732	2,051,467
固定資産		
有形固定資産	174,406	170,513
無形固定資産		
のれん	146,605	71,599
ソフトウェア	341,713	346,903
その他	3,209	3,209
無形固定資産合計	491,528	421,711
投資その他の資産		
投資有価証券	620,504	609,615
その他	434,249	448,452
貸倒引当金	△14,625	△14,622
投資その他の資産合計	1,040,128	1,043,445
固定資産合計	1,706,063	1,635,671
繰延資産	2,936	3,275
資産合計	3,825,732	3,690,413
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	258,653	278,510
短期借入金	1,589,200	1,726,400
1年内償還予定の社債	36,000	36,000
未払法人税等	20,485	48,220
返品調整引当金	12,642	13,853
その他	570,200	467,091
流動負債合計	2,487,181	2,570,075
固定負債		
社債	126,000	126,000
その他	23,631	—
固定負債合計	149,631	126,000
負債合計	2,636,812	2,696,075

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,078,784	1,078,450
資本剰余金	666	333
利益剰余金	△299,207	△371,305
株主資本合計	780,242	707,478
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,505	△19,444
評価・換算差額等合計	△1,505	△19,444
少数株主持分	410,182	306,303
純資産合計	1,188,919	994,337
負債純資産合計	3,825,732	3,690,413

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	1,242,421	1,283,865
売上原価	705,194	785,117
売上総利益	537,227	498,748
返品調整引当金戻入額	15,188	13,853
返品調整引当金繰入額	15,473	12,642
差引売上総利益	536,942	499,960
販売費及び一般管理費	449,787	383,550
営業利益	87,154	116,409
営業外収益		
受取利息	927	2,410
受取家賃	1,773	1,379
投資事業組合運用益	—	22,686
その他	960	552
営業外収益合計	3,661	27,029
営業外費用		
支払利息	13,266	11,288
株式関連費	4,268	4,581
その他	2,336	2,278
営業外費用合計	19,871	18,149
経常利益	70,944	125,289
特別利益		
関係会社株式売却益	215,727	—
貸倒引当金戻入額	1,165	4,397
特別利益合計	216,893	4,397
特別損失		
固定資産除却損	2,704	1,145
投資有価証券売却損	—	10
投資有価証券評価損	4,700	—
特別損失合計	7,404	1,155
税金等調整前四半期純利益	280,433	128,530
法人税、住民税及び事業税	7,139	17,237
法人税等調整額	14,897	14,897
法人税等合計	22,036	32,134
少数株主利益	17,863	24,298
四半期純利益	240,533	72,097

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	280,433	128,530
減価償却費	38,340	43,266
のれん償却額	2,507	4,574
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,165	△3,547
受取利息及び受取配当金	△927	△2,410
支払利息	13,266	11,288
関係会社株式売却損益 (△は益)	△215,727	—
売上債権の増減額 (△は増加)	75,220	37,286
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△532	△135
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,941	△19,856
その他	△121,634	14,166
小計	66,838	213,162
利息及び配当金の受取額	95	5,472
利息の支払額	△15,053	△9,774
法人税等の支払額	△5,876	△43,880
営業活動によるキャッシュ・フロー	46,004	164,980
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△63,484	△3,810
無形固定資産の取得による支出	△36,967	△50,833
投資有価証券の取得による支出	△219,900	—
投資有価証券の売却による収入	—	40,003
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	95,560	—
関係会社株式の売却による収入	160,000	—
貸付金の回収による収入	20,000	27,000
その他	9,895	△2,194
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,895	10,165
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	66,250	△75,000
長期借入金の返済による支出	△62,200	△62,200
社債の償還による支出	△200,000	—
株式の発行による収入	666	666
セール・アンド・割賦バック取引に基づく資産売却代金の受入額	—	61,745
割賦債務の返済による支出	—	△7,493
配当金の支払額	△2	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△195,286	△82,287
現金及び現金同等物に係る換算差額	△38,518	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△222,697	92,859
現金及び現金同等物の期首残高	683,388	456,919
現金及び現金同等物の四半期末残高	460,691	549,779

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

(単位: 千円)

	データベース事業	メディア事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	123,643	1,118,777	—	1,242,421	—	1,242,421
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	60,860	30,100	—	90,960	(90,960)	—
計	184,503	1,148,877	—	1,333,381	(90,960)	1,242,421
営業損益	32,104	197,552	△493	229,164	(142,010)	87,154

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、サービスの内容及び特性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要なサービス等

事業区分	主要なサービス等
データベース事業	音楽情報データベース貸与事業等
メディア事業	携帯端末へのコンテンツ提供事業、出版事業、WEB事業等
その他事業	不動産販売・仲介

当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位: 千円)

	データサービス事業	メディア事業	その他事業	計	消去又は全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	136,841	1,146,790	233	1,283,865	—	1,283,865
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	59,046	30,020	—	89,066	(89,066)	—
計	195,887	1,176,810	233	1,372,931	(89,066)	1,283,865
営業損益	17,499	225,839	△678	242,660	(126,251)	116,409

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、サービスの内容及び特性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要なサービス等

事業区分	主要なサービス等
データサービス事業	音楽ソフト・映像ソフト・書籍のマーケティング情報及びランキング情報の提供等
メディア事業	携帯端末へのコンテンツ提供事業、出版事業及びWEB事業等
その他事業	不動産販売・仲介

3. 当第1四半期連結会計期間より「データベース事業」を「データサービス事業」に名称変更しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。